

1. 現状と課題の把握方法

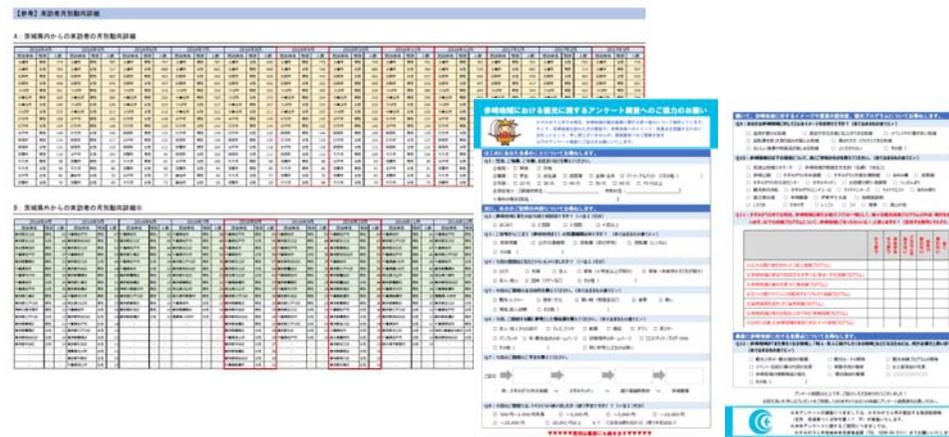
① データによる現状把握 (定量分析)

■ オープンデータの活用

- ・ 地域経済分析システム (RESAS)
- ・ 各種統計データ

■ アンケート調査

- ・ Webアンケート調査 (首都圏在住者対象)
- ・ 現地アンケート調査 (交流センター、歴史博物館、水族館)



② 関係者からの意見ヒアリング (定性分析)

■ 歩崎地域観光振興関係者会議

- ・ 平成30年7月より毎月1回計5回

■ 観光関連施設関係者ヒアリング

- ・ 交流センター、歴史博物館、水族館、あゆみ庵・民家園
農村環境改善センター、歩崎地域湖岸栈橋、歩崎森林公園
歩崎展望台の計8施設について関係者へヒアリング

関係者会議参加事業者・団体

- (株)かすみがうら未来づくりカンパニー
- (株)デン・ケリー (かすみがうら市水族館)
- (株)アトレ
- (株)ラクスリーナ
- (一財)行方市開発公社
- (株)ひのでや
- (有)山野水産
- 手作りパン パンプキン
- 貝塚忠三郎商店
- 霞ヶ浦漁業協同組合
- 霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会
- (株)グランバー東京ラスク
- オリックス・ゴルフ・マネジメント(株)
- かすみがうら市歴史博物館
- (株)筑波銀行

